

第5回佐波川かわまちづくり協議会

平成28年2月5日（金）

主催：防府市 土木都市建設部 河川港湾課

2-1) 今までの経緯について

平成26年3月 かわまちづくり支援制度の登録を受ける
(国土交通省 水管理・国土保全局)

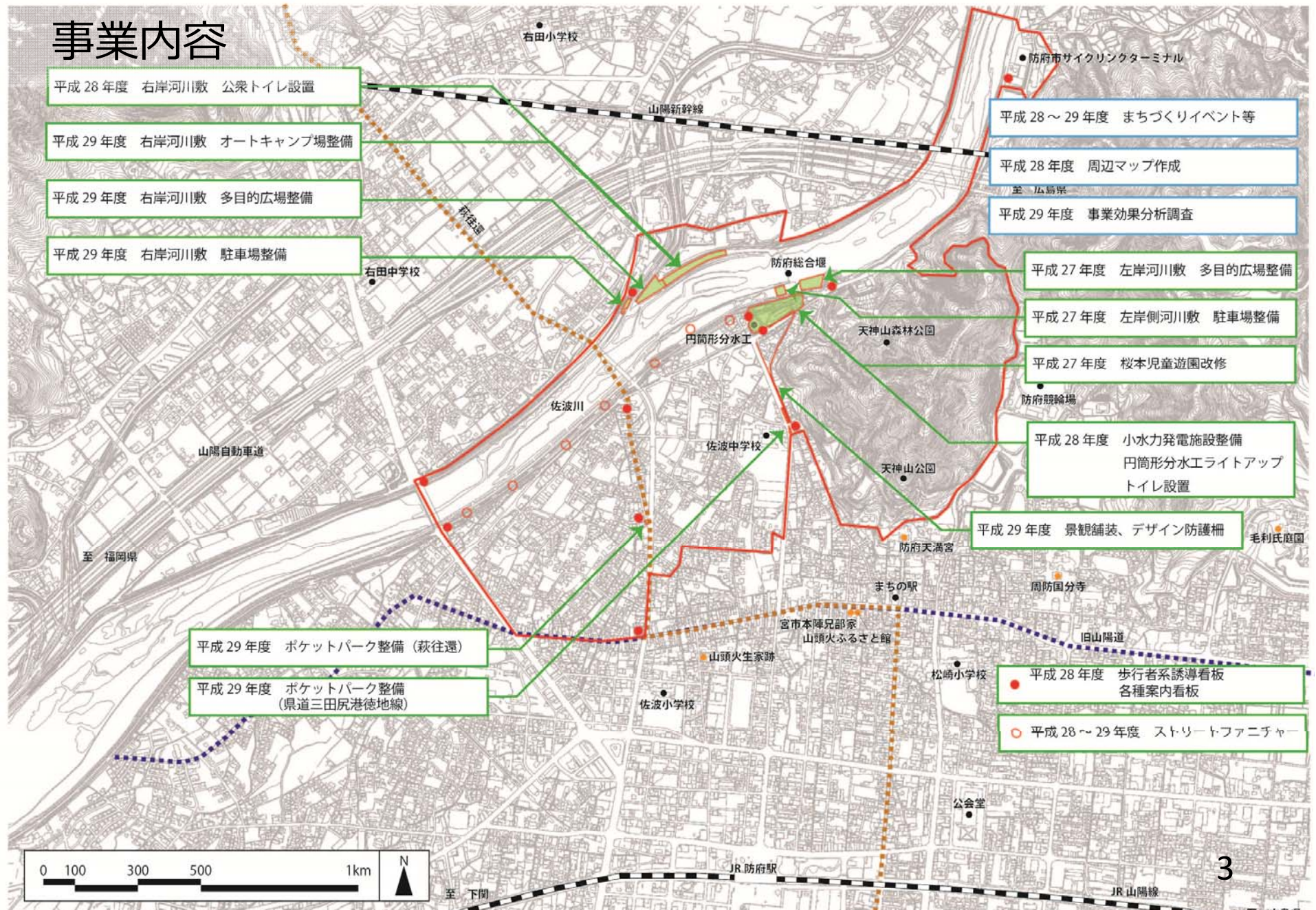


平成27年3月 社会資本整備総合交付金の補助を受ける
ために計画書を申請 (国土交通省 都市局)

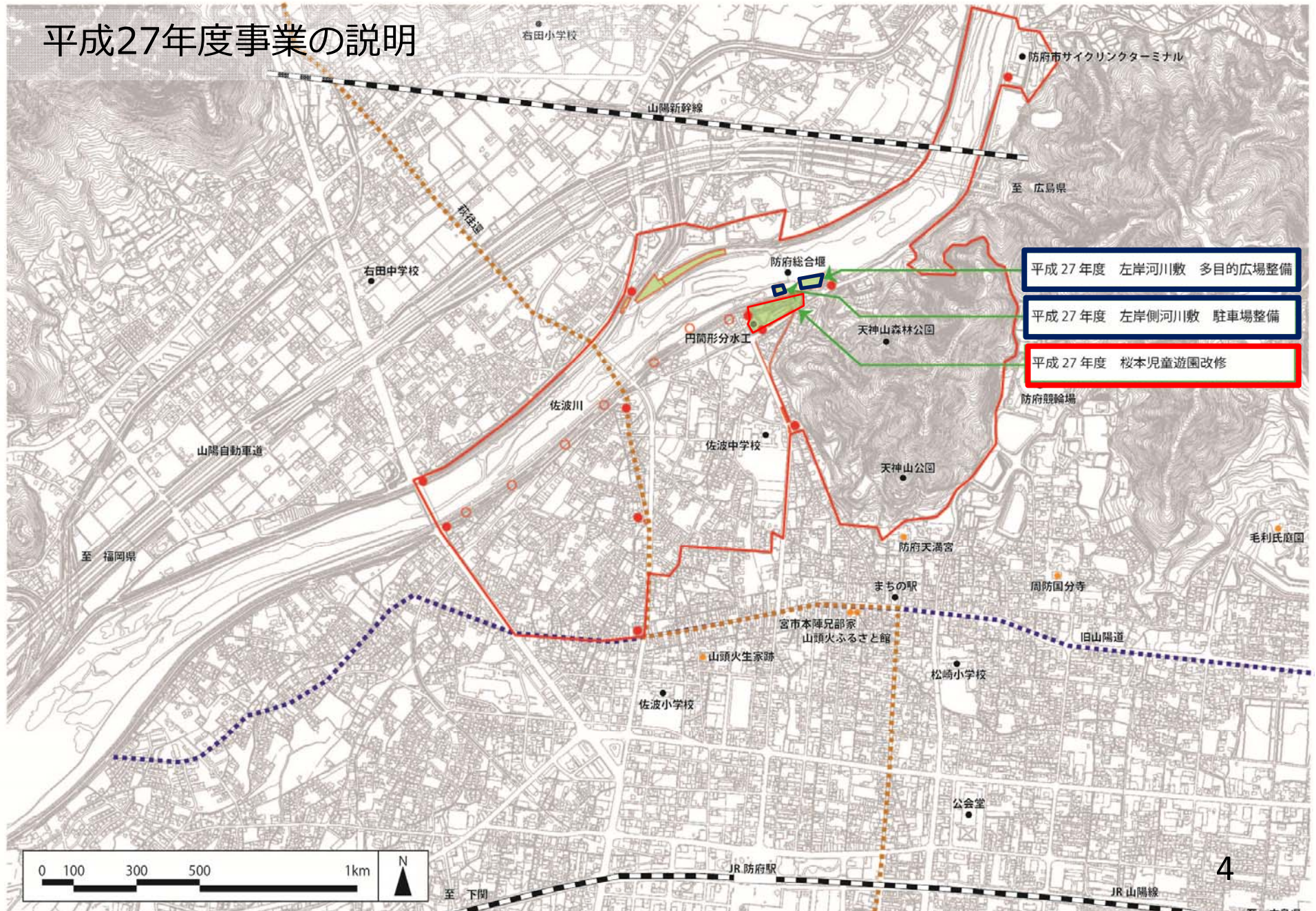


平成27年4月 3カ年の補助事業として事業推進
(補助率 4割)

2-1) 今までの経緯について

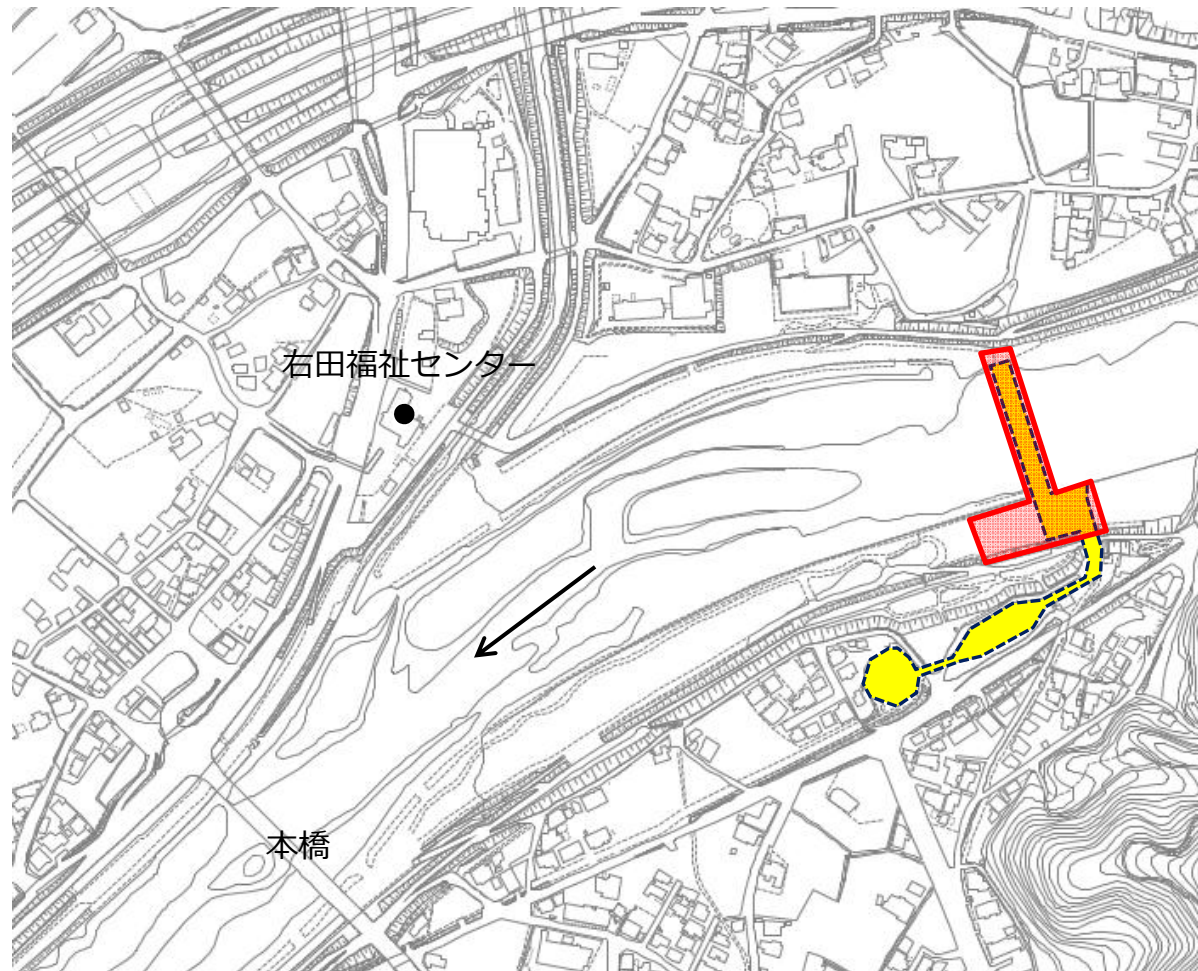


2-1) H27年度事業の実施状況



2-1) H27年度事業の実施状況

施工できなくなった理由



【利水施設の長寿命化】

H27年 詳細設計
H28年~H31年 . . 工事期間

【事業主体】

山口県山口農林事務所

【理由】

- ・ 高水敷を仮設ヤードとして使用するため（工事含む）

凡例



工事予定実施箇所



防府総合用水（利水施設）

2-1) H27年度事業の実施状況

白坂人丸・佐波松崎地区



2-1) H27年度事業の実施状況

桜本・桜つつみ公園整備状況

【事業概要】

- ・複合遊具 1基
- ・クライミング遊具 1基
- ・スプリング遊具 3基
- ・休憩施設 1式
- ・展望デッキ 1式
- ・シバザクラ 320m²



2-1) H27年度事業の実施状況

現在の進捗状況 (1月15日現在)



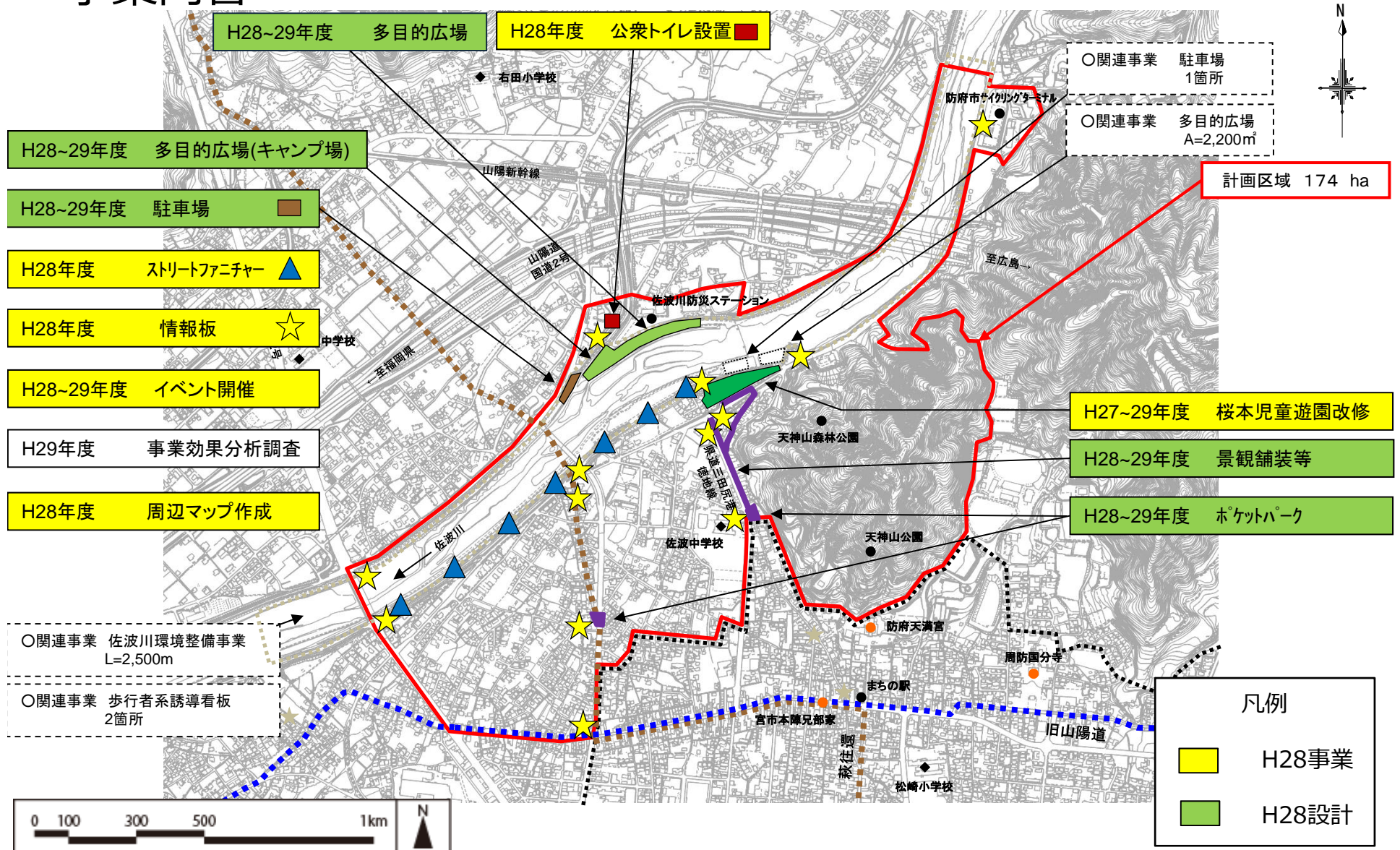
2-1) H28年度の事業について

変更事業スケジュール（平成27年11月に変更）

事業	事業名称・箇所	平成27年度	平成28年度	平成29年度
公園	桜本児童遊園・桜つつみ公園改修	●————→		
	小水力発電施設整備			●————→
	円筒形分水エライトアップ		●————→	
多目的広場	左岸側河川敷	H32年以降		
	右岸側河川敷(キャンプ場)			●————→
駐車場	左岸側河川敷	H32年以降		
	右岸側河川敷			●————→
ポケットパーク	県道三田尻港徳地線			●————→
	萩往還			●————→
景観舗装、 デザイン防護柵	県道三田尻港徳地線、市道			●————→
ストリートファニチャー	左岸側河川敷、堤防		●————→	
情報板	区域全体		●————→	
公衆トイレ設置	桜本児童遊園		●————→	
	右岸側河川敷			●————→
まちづくり支援	イベント開催		●————→	
	周辺マップ作成		●————→	

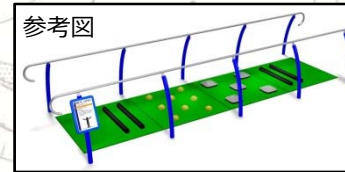
2-1) H28年度の事業について

事業内容

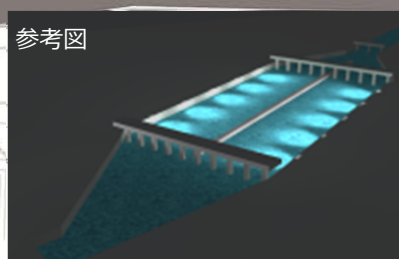
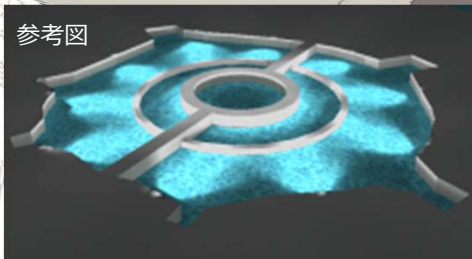


2-1) H28年度事業について

【桜本児童遊園改修】



凡例	
	【電気設備工事】
	・照明関係 1式
	・配線関係 1式
	【公園本体工事】
	・健康遊具 6基
	・修景防護柵 1式
	・植栽工 1式
	【公衆トイレ工事】
	・男女、多目的 1式

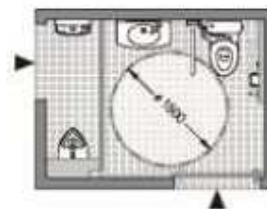


2-1) H28年度事業について

【右岸側河川敷 公衆トイレ】

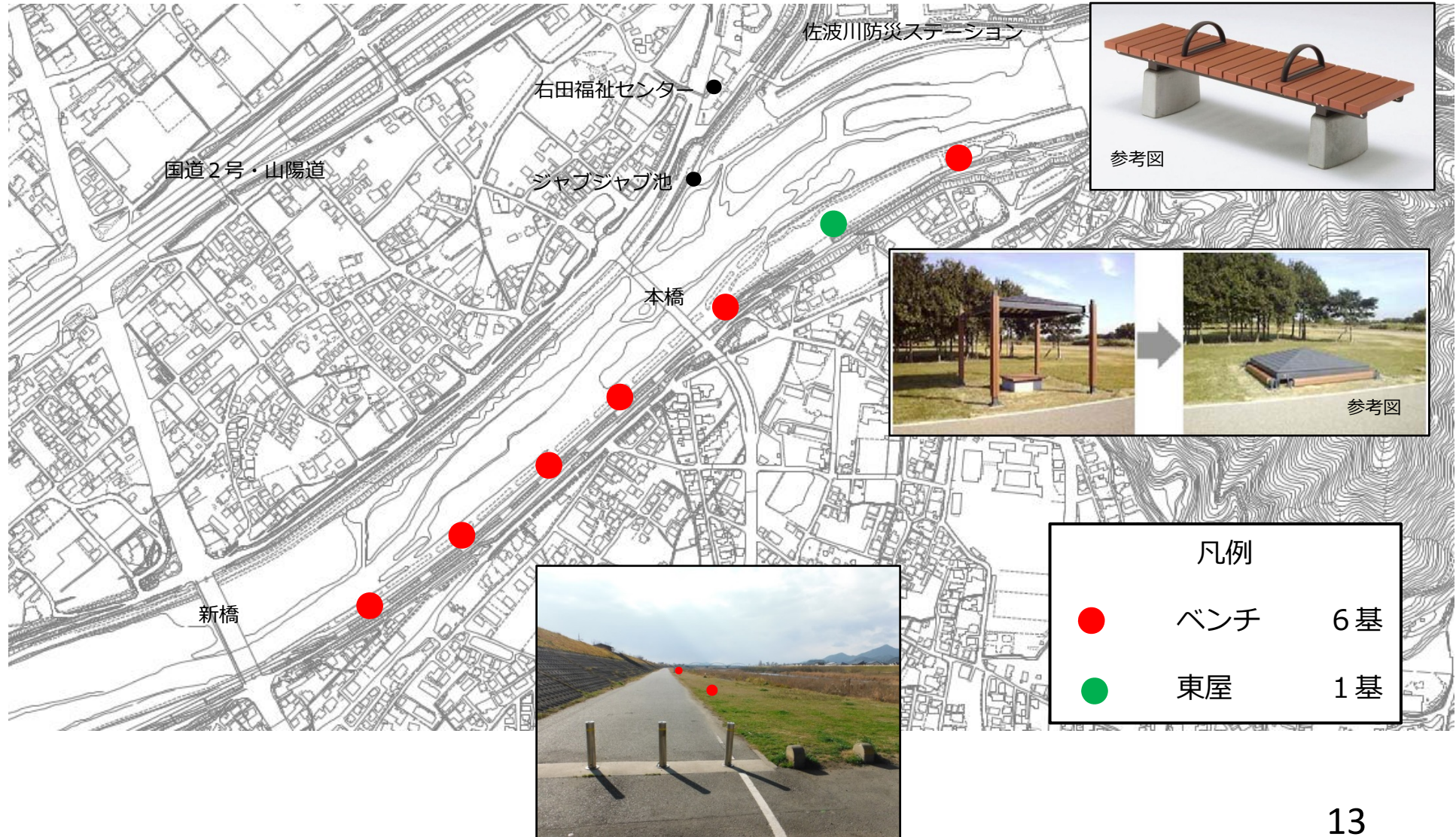


男子用	1 箇所
男女・多目的	1 箇所



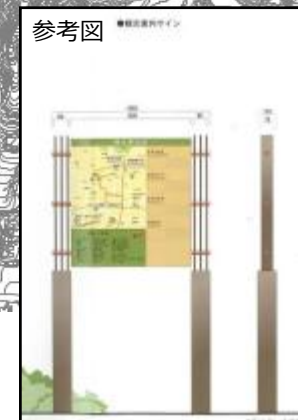
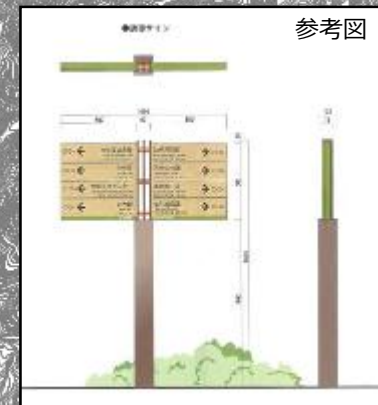
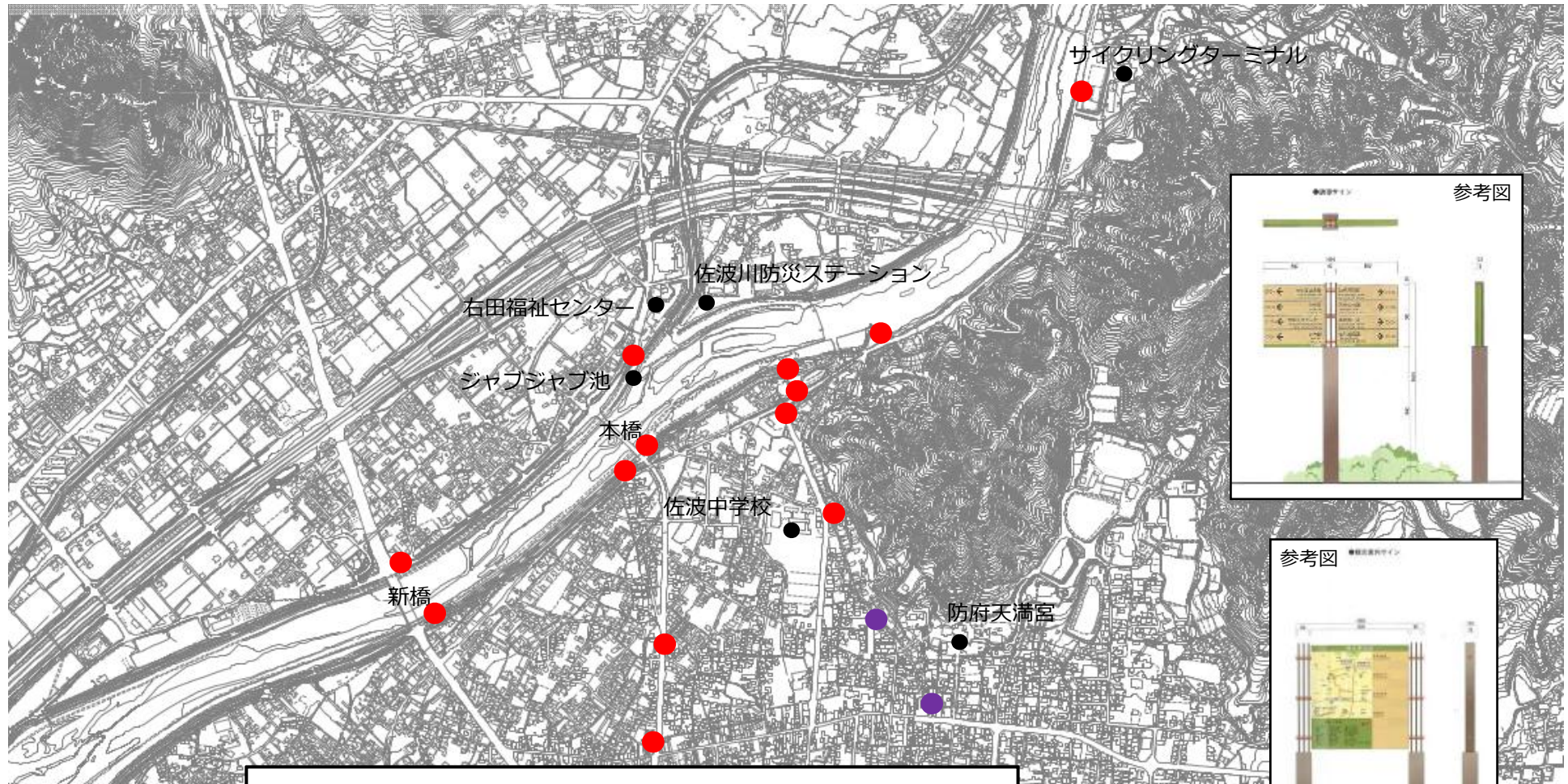
2-1) H28年度事業について

【ストリートファニチャー】



2-1) H28年度事業について

【情報板：歩行者系誘導看板】



凡例

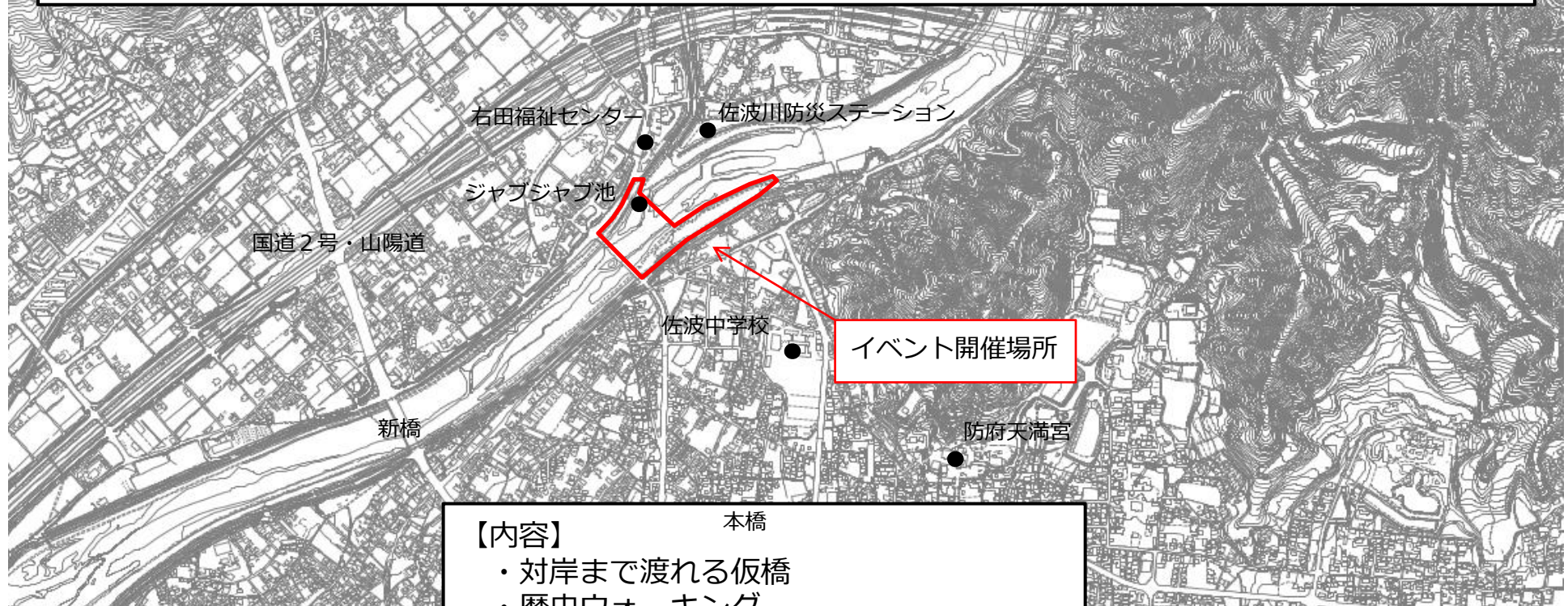
- 総合案内板・歩行者系誘導看板（補助） 13基
- 歩行者系誘導看板（単独） 2基

2-1) H28年度事業について

【イベント開催】

【目的】

佐波川の活用や新たな利用者層の開拓のため、周辺自治会関係者と協働し、萩往還の一部であった舟橋の歴史を再認識するとともに、魚やホタルが生息する親水性、自然環境や増水等による災害発生時の危険性など、イベントを通して佐波川の歴史や水辺の遊びについて情報発信していくことを目的とする。



【内容】

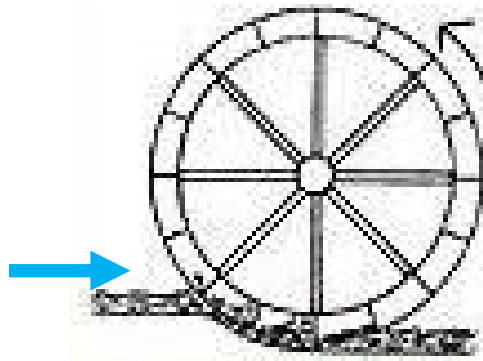
- ・対岸まで渡れる仮橋
- ・歴史ウォーキング
- ・各種パネル展示
- ・凧揚げ・竹馬・竹とんぼの工作イベント
- ・サイクリング
- ・健康体操教室 など

2-2) その他について

水車について

【水車の種類】

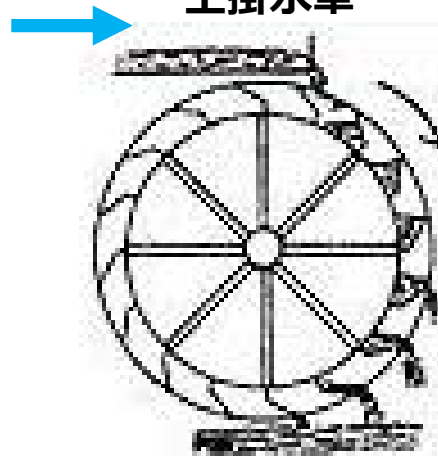
■ 下掛水車



羽根車を落差の無い流れに当て、その衝動で回転する。効率は悪いが、大きな流量を利用することができる。

季節によって水位が変わるので常時回そうとすると水車の直径が大きくなる。(約5.0m)

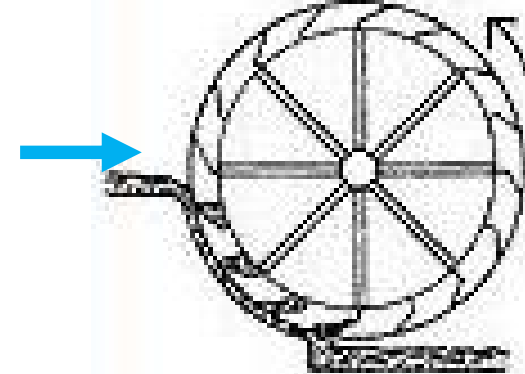
上掛水車



水車上部から水を掛け、水の重量により衝動で回転する。下掛水車に比べて効率が良い。

佐波川との水位差が無いいため、自然流下で、水車の上から水を流すには、ポンプアップが必要。

胸掛水車



水車の中間から水を掛け、水の重量と衝動の両方の力で回転する。下掛と上掛の中間的な特性を持つ。

佐波川との水位差が無いいため、自然流下で、水車の上から水を流すには、ポンプアップが必要。

2-2) その他について

水車について（H29年度予定）

【水車機能の変更】

【設置の目的】

教育の場としての機能を付加する

【設置する機能】

- 1) 水車
- 2) 小水力発電施設



【設置する機能】

- 1) 水車
- 2) **水の原理が学べる施設**

【変更理由】

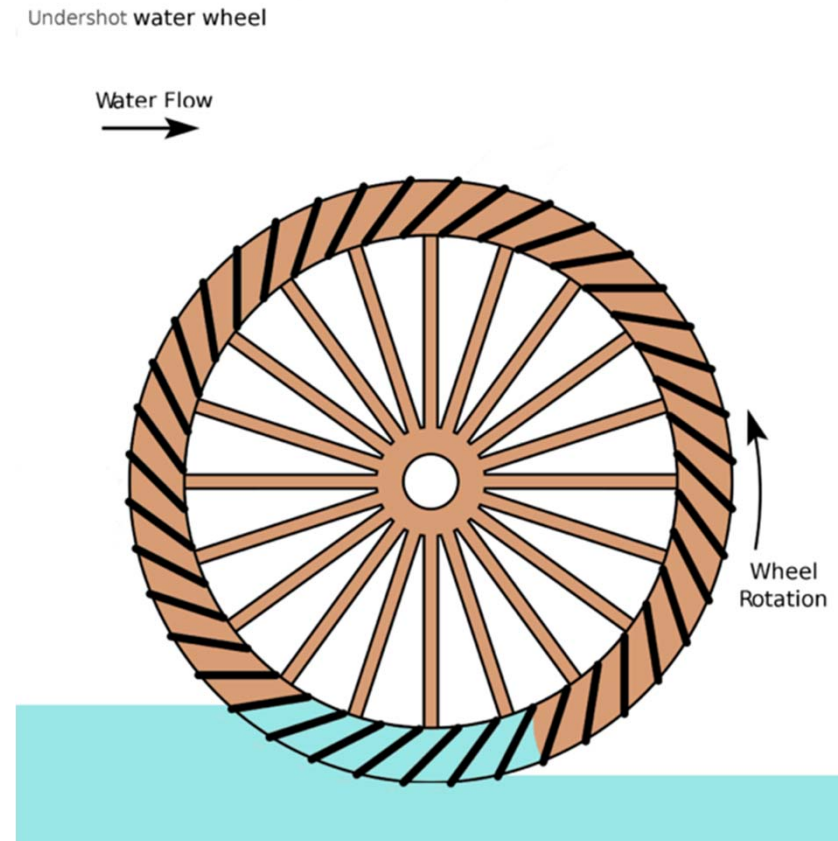
- ① 1年を通じて水車を回すには、大きな水車が必要となる。
- ② 経済産業省の小水力発電設備の許可が必要（個別の審査）

2-2) その他について

水車について

【見直しの考え方】

- 1) 発電は行わず、水の流れ、動きなどを体感できる環境学習施設。
- 2) 水路内の水量の多い農繁期(5月～9月)は、水路の水を直接水車が受けて回す、「下掛水車」とする。
- 3) 水の少ない時期は、水路の水を手押しポンプ等で吸い上げ、水車の真ん中あたりに水を掛けて回す「胸掛水車」とする。
- 4) 手押しポンプの他にも、水の原理を勉強する施設の整備予定。
(水圧・水流など)



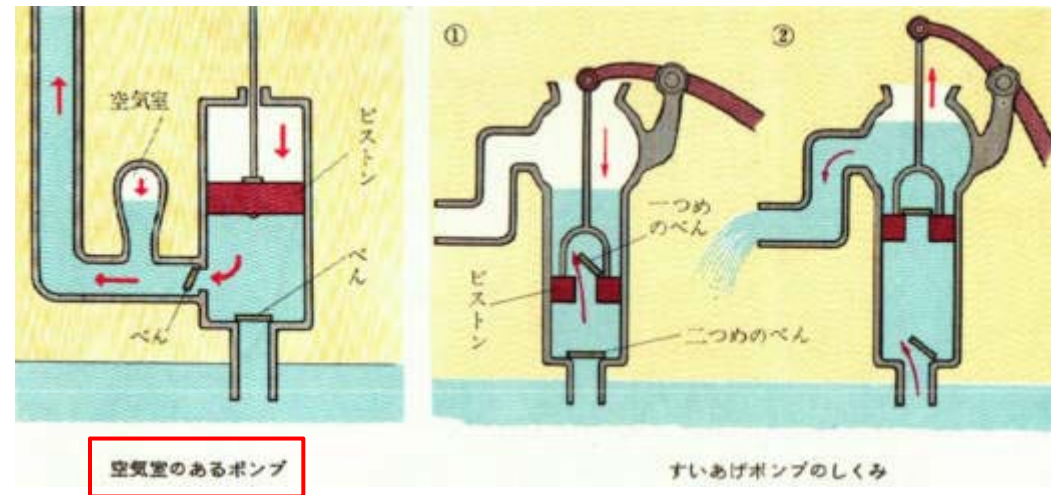
2-2) その他について

水車について

押し上げポンプに空気室を付加すると、たえず、水を押し上げることができるようになる。

理論上、**10m程度**水を持ち上げることができる。

【ポンプイメージ】



【ポンプイメージ写真】



【胸掛水車イメージ写真】

